



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティースクールニュース 2010年6月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL

代表者 守田幸男 (会長) 9443 Ottewell Road, Edmonton AB T6B 2E1 TEL: 780-466-3278

借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St

URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

<校長からのメッセージ>

2010年度の補習校生活が始まったかと思えば、もう一学期の終わりを迎えます。また、現地校では一年の終わりを迎え、それぞれにとっていろいろ忙しい月だったかもしれませんね。補習校の各クラスで、先生方たちには、月案に沿ってしっかり一学期のクラス運営をしていただきました。一学期は、いろいろクラスなどの生徒もすんなりと新しい学年の先生、クラス、学習になじめたようで、6月の今は廊下を歩くどどのクラスも実に充実した雰囲気が漂っていて、とても良い今学期を過ごせたように感じさせてくれます。守田会長を中心に役員会の皆様には、補習校運営、行事関係のサポートなどを頑張ってくださいました。また保護者の皆様には、当番やボランティアなどいろいろお手伝いをいただきました。生徒たちがこうやって充実した一学期を送ることができたのも、こうして先生方、役員の方々が、保護者の皆さまがしっかりと役割を果たしていただいたからだと思います。皆様、ありがとうございます。学校を代表してお礼を申し上げます。ただ、この状態をしっかりと保つことが、最も大切なことです。これからもそれぞれが、与えられた責任の範囲はしっかりと取り組んでいただければと思っています。

さて、6月もいろいろな行事がありました。私は、日本の家族事情により不在ではありましたが、長倉副校長、役員会を中心に、授業参観、書道クラスを無事に終えました。授業参観は、クラスの雰囲気、教師、お子様の様子などうかがい知ることができたことと思います。これをきっかけにさらなるクラスの教育の充実につなげていけたらなと思っています。習字教室は、二年生の担任、金先生を特別講師に迎えおこなわれました。こちらにいと普段なかなかできない違った形の『国語の勉強』に、子どもたちも楽しく参加、学習することができたようです。こちらで清書した作品は、書画コンクールに応募いたします。楽しみです。また6月18日には、火災避難訓練が行われました。万が一のためにしっかりとあらためてお家で避難の方法を確認しておきましょう。今回は、非常ベルを使って行われましたが、もしかしたらハンドベルで、もしかしたら、『火事だ、逃げろ』の声で、避難の指示があるかもしれません。そここのところも頭に置いておいてください。役員会、教師会のそれぞれで反省会を開き改正できる点があれば後ほど示したいと思います。

前後いたしますが、6月5日の土曜日には、運動会が開かれました。今年は、エドモントン補習校の単独での開催となったのですが、ボランティアの運営委員を中心

に大変盛り上がった運動会となったようです。やはり子どもたちにとっては一大イベントのようで、いろいろと運動会のお話を子どもたちから聞くことができました。運営委員の皆様本当にお疲れ様でした。そして子どもたちに楽しい思い出をありがとうございました。

さあ、夏休みが始まります。この長い夏休みを充実して過ごせるように、例年通り各先生方が『夏休みの宿題』を用意してくれました。復習中心ですが、作文あり、プロジェクトありと楽しく？勉強できるように工夫されています。毎日少しずつ頑張ってください。日本の本を読んだり、DVDを見たり、漫画を読んだり、いろんな面で日本語に楽しんで触れておくことも忘れないください。サマーキャンプに参加するのも大変いいことだと思います。二学期は、9月3日より始まります。笑顔の皆さんにまた会えるのを楽しみにしています。ご家族で充実した夏休みをお過ごしください。

校長 坂口 宗

<校長からの私信>

校長からのメッセージの中で少し触れましたが、日本への緊急帰国のため三週間ほどお休みをいただきました。海外にすむ皆さんにとっても身近な問題となりうるかもしれませんので少しお話させていただきます。私の父が、転倒して頭がい骨骨折、脳挫傷により気篤状態となったのを受け、最悪の事態を思い緊急に帰国いたしました。皆様と同じように、エドモントンに家庭があり、仕事があり、生活がある私には、帰国のタイミングも、また家族全員で帰るか、そしてまたこちらにいつ戻るのか、現実問題としての経済状況など一つ一つが難しい問題でした。三週間の滞在の後、結局、「今すぐに死亡という状況は脱しました」という医者言葉で、意識不明のこん睡状態で病院生活を送らなければならない父を、前後して危篤状態になった祖母を、そしてその二人を看る母を残して、それこそ後ろ髪を引かれる状態でこちらに戻ってきました。現在はメールと電話で連絡を取り、心配の毎日そして、たまった仕事に追われる毎日です。

いま日本では、高齢者の医療費一割、もしくは三割負担のみならず、どういった年齢、どんな病気の状態に関わらず入院生活は、三カ月までとし（最高は5、6ヶ月までだがあまり適用されない）それを超えると転院しなければいけないという理不尽な法があります。おそらくこん睡状態で余生を送ることになるであろう父も例外ではありません。それを見越して、日本を発つ前に、次の

入院先の病院を決めてきました。これから、日本にいる家族とこちらにいる自分の家族、生活をどうバランスを取っていけばいいのかさらに繊細にいろいろ考えていかなければなりません。そして、こちらで生活する皆様方にとっても身近ではないこととは言い切れないかと思えます。私は、こういうことがいつか起こるだろうと思っていたのですが、そういうことは10年後くらいだと漠然ととらえていました。考えたくはないことですが、こういったことは早いうちに少しずつでもしかも具体的に考えていくことが必要、大切なかもしれません。皆様にも日本のご家族の方が一のことを少し考えていただけるきっかけになればと思って投稿させていただきました。

坂口 宗

<会長からのメッセージ>

本日の授業をもって、1学期は終了です！やったー、夏休みだー！！。皆さんも、すばらしいエドモントンの夏を謳歌下さい。また、日本に帰国される方も大勢いらっしゃると思いますが、お気をつけて。夏休み中はニューズレターの配信はありませんが、必要に応じて「日本語学校からのお知らせ」はEメール配信しますので適時メールチェックをお願いします。

今月は、運動会、習字教室、避難訓練と、行事が盛り沢山でしたが、皆さんのご協力で無事終える事が出来ました。ありがとうございます。習字教室では、以前本校に在籍されていて今はカルガリーに在住されている川本さんから、習字半紙400枚と墨汁180mlを7本寄付頂きました。川本さん、ありがとうございます。

先日お知らせした様に、7月末からヘリテージ祭がエドモントンの街をあげて大々的に行われます。このお祭りには、多くの国々がパビリオンを出展し、様々な食や文化に触れられます。詳細は、<http://www.heritage-festival.com> を参照下さい。特にまだ行った事の無い方には興味深いお祭りだと思います。日本館はEJCAが主催しておりますが、本校も毎年協力させて頂いています。ボランティアに是非ご協力下さい。ボランティアシートを添付しますので記入の上、ロバートソンさん bruce@interbaun.com までご応募下さい。

2学期は、9月3日(金)にスタートします。どうぞ楽しい夏休みをお過ごし下さい。

後援会会長 守田幸男

<保護者便り>

小3の息子と、今年やっと年中に上がった娘がお世話になっております。先月号で、元田先生が漢字について書いてくださっているのを読み、私も子供が習う漢字ごとに、意外な驚きがあるなと思っておりました。

最近私がオヤツと思ったのが、「意」の文字です。息子が書き取りをしながら、「これは心の音なんだよね。」とつぶやいているのを聞き、私の人生において、この文字に対して持っていた偏見に近いような印象が急

に晴れた感じがしました。意思、意見、総意、意気、意義、意向、挙げていけばきりがありませんが、そのどれもが、私にとって眉間にしわを寄せてしかめっ面でひねり出す自分の考え、という印象をもっていました。

偏見を持たずにこの文字をみたならば、何のことは無い、心の音なのでありました。力を抜いて心に耳を傾ければ、おのずと聞こえてくる言葉ですらない、ただの音。やっぱり表意文字は面白い、とかみ締めた日でした。

ヒューストン靖子

皆さんこんにちは、三年生の太華とプレイス쿨の愛里の母で、キャンベルと申します。トロントからエドモントンへ引越しをしてきて今年で3年目に入ります。最初こちらの日本語学校に来たときは、トロントの学校よりも規則などが厳しいなと感じました。あちらの学校も現地校を借りて運営していますが、高校だからなのか、あまり文句を言われなかったようです。スノーブーツでもそのまま中へ入っていましたし。こちらは上履き下履きは絶対ですよね。でもよく考えたら日本の学校はそんなものだし、そのほうが衛生的ですね。

三年生の娘は、毎回歯を食いしばりながら、泣きながらも宿題を終わらせようと頑張っています。とっても負けず嫌いなので、気持ちはわかりますが、時々かわいそうになってしまいます。やめさせようかと考えたことも多々あります。

でも私も負けず嫌いなところがあるので、それは絶対ないかと思えます。

下の娘は、プレイス쿨のことを先生がいる所と考えてて、どこへ行っても先生、先生になっています。こちらのコミュニティーセンターのインストラクターも先生と呼んでいますし。

ただ、二人とも楽しんで日本語学校へ行っていることだけで、私はほっとしています。

キャンベル恵美

日本語補習校では、3年生の彩良(さら)と2歳の萌奈(もな)がお世話になっています。補習校入学前から噂に聞いていた宿題。漢字練習に教科書ワークにあかね、さらに日記や作文。毎日少しずつ…と思いつつも、毎週ギリギリに仕上げ、なんとか通う日々が2年を過ぎました。彩良は、まず机に向かうまでに叱られ(私が補習校の宿題と言うまで、いつまでも知らんぷりしているの)、さらに勉強がわからないとグズグズいじけて、叱られ…。私がこんなに怒ってばかりでは、日本語の勉強自体が嫌になるかもしれないと心配しているのに、本人は怒られても至って平気な様子。「勉強は大変だけど、補習校はとっても楽しい!!」のだそうです。ただ、それもいつまで続くのでしょうか。みなさんのお話を伺っていると「なだめすかして」宿題をさせる日も遠くないかもしれません。宿題と言えば、そろそろ「夏休みの宿題」ですね。我が家はきっと今年も夏休みが終わりに近づく

につれ、焦ることになると思いますが、今夏も親子でがんばりたいと思います。

松原あゆみ

教師を辞めてから、金曜日は子供だけを学校に送って、自分は家でのかきにテレビなどを見る時間ができました。なんだか、結構罪悪感を感じます。子供は現地の学校から帰ってきて、またすぐ日本語学校に行っているというのに、私は遊んでしまっているのですから。急に子供たちが、よく頑張っていることに気づきました。日本語学校から帰ってきたら、おいしいものを食べさせてあげようと思い、お菓子を焼いていると、主人に、“罪悪感からやっているでしょう”と言われました。なぜわかる？と思いながら、子供達の事をもっと褒めてあげないといけないなあと思いました。普段は、どうしても叱る事のほうが多くなってしまいがちですが、皆さんも子供たちを褒めてあげてくださいね。

浅野志保

<教師紹介>

2年生を担任しております、金紀子です。2010年度は私にとって、先生3年目、3つ目の担任クラスとなりました。初年度は、小学5年生を担当いたしました。現地校ではGr6にもなる生徒のみなさんが、週末の晩、他の興味に時間を使うことなく、補習校に通学する姿に感心させられました。2年目の昨年は、小学3年生を担当いたしました。様々な習い事をしている生徒みなさんの、その習い事の中に定着した補習校の存在を目の当たりにして、とても頼もしく思いました。今年度は、先の2年よりも年少の生徒のみなさんと一緒にいますが、毎週、これまで以上に強く感じていることがあります。後半の授業では疲れが色濃くうかがえる、こんな小さなお子さん達がなぜ、こんなに、ここまで、がんばれるのだろうかということです。「子供の将来のために」という理由で、補習校通学を応援されている保護者の方が多いのではないかと思います。当の本人、生徒のみなさんはどうでしょう。機会があれば、補習校に通学する全生徒のみなさんに聞いてみたい質問です。保護者のみなさんは、お子さんの答えを、どのように想像されますか？私が想像する、生徒のみなさんの答えの多くはきっと、「お父さんお母さんが、補習校に行くのはあなたのため、と言うから。」ではないかと予想しています。「お父さんお母さんが言うから。」大好きなお父さんやお母さんの期待に応えたいとがんばる、生徒のみなさんの健気な努力を、また、「子供の将来のために」と願う保護者のみなさんの思いを、精一杯応援して行きたいと思います。

金 紀子

<ボランティア募集>

会則と校則の整理、ストラテジックプランニング、奨学金 Komitee に協力 してくださるボランティアの方を募集しています。詳細 は後日発表します。興味のある方はブルースさんまでお知らせください。

bruce@interbaun.com

<9月の当番>

9月 3日	開出	マロン(Mallon)
10日	小林(麗)	ピリ(Pirie)
17日	大久保	萩原
24日	森	山田

当番表の作成は事務のダンウォルドさんが当たっていますので、質問や疑問、そして都合の良い日に当番日があれば調整しますので、お知らせください。

<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の山本 (naoko2158@shaw.ca) までご連絡下さい。投稿の締切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 アデイソン千恵子
編集 山本 奈穂子

